



11月10日

ランニングで認知症理解を呼び掛け

認知症になっても安心して暮らせるまちを目指し、えなRUN伴+ (PLUS) が行われました。これは、認知症の人や支援者、地域住民などが、たすきをつないでゴールを目指すイベントです。参加者は、県クリスタルパーク恵那スケート場 (武並町) が発着点の約9.2kmを走りました。

走り終えた田口こうさん (82歳) は「天気も晴れて心も晴れて、最高です」と、満面の笑顔で話しました。

会場では、クイズラリーや一般から募集した認知症かるたの展示、高齢者の笑顔写真コンテストなどが行われ、認知症について楽しく学んだ一日となりました。



11月3日

地域へ感謝、おかげまつり

岩村町の本通りで「2019 いわむら城下おかげまつり」が開催され、約1万5千人が秋晴れの城下町を訪れました。

通りには、雑貨のフリーマーケットや食べ物の屋台が並び、まんぷく横丁やこども横丁、七輪横丁が設置されました。「半分、青い。」の雰囲気再現する「ふくろうまつり」も同時開催され、訪れた人は、五平餅を味わったり、買い物したりして楽しんでいました。

また、今回のおかげまつりでは岩邑中学校の生徒有志が「岩村城下町もりあげ隊」としてスタンプラリーを企画・運営。地域を盛り上げる大きな力となりました。



10月27日

恵那峡の湖面に咲いた秋の花火

恵那峡さざなみ公園一帯で、7月から3回にわたって開催延期となっていた恵那納涼水上花火大会が開催されました。

納涼と呼ぶには涼しい時季となりましたが、来場者は上着を着たりひざ掛けを持参したりして防寒対策済み。三つの台船からも、肌寒さを吹き飛ばすかのように、次々と花火が打ち上げられました。

水中花火やスターマインなど約2千発の花火の中には、明智光秀の家紋をモチーフにした花火なども登場。訪れた2万人の来場者は、水面に映る花火を見つめたり、夜空を彩る大輪の華を見上げたりして、秋の花火を楽しみました。



10月26日

楽しみながら環境について考えた

市民会館とその周辺で、今年で13回目となる「えな環境フェア2019」が開催されました。

今年は、川でつながる下流の環境まで考えようと、藤前干潟 (名古屋市) からの中継も行われました。会場に設置されたモニターには、藤前干潟のごみが映し出されるなどして、お互いの問題を共有しました。

その他、電化製品を解体して資源を発見したり、間伐材で箸を作ったりするコーナーもあり、来場者は体験しながら環境を学んでいました。また、水素自動車から会場内の電源が供給されるなど、エコ技術も体感することができました。



11月12日

農高の活動発表が全国大会で2位

10月23日に宮城県名取市で開催された第70回全国日本学校農業クラブ全国大会で恵那農業高等学校が準優勝に輝き、生徒らが市長に受賞報告をしました。

参加したのは、プロジェクト発表Ⅱ類開発・保全・創造の部門で、全国9ブロックから選出された代表校による発表がありました。同校は、地元企業・市との三者連携協定事業である「花咲か里山プロジェクト」の取り組みを中心に発表しました。

リーダーの安藤美咲さん (3年生) は「どの学校の取り組みも素晴らしく、勉強になった。今までの成果を多くの方に知ってもらえて良かった」と喜びを語りました。



11月3日

へボが飛び交う中、立派な巣を競う

くしはら温泉ささゆりの湯グラウンドゴルフ場で、くしはらへボまつりが開催され、へボ愛好家や観光客ら約1,600人でにぎわいました。

まつりの見どころ「全国へボの巣コンテスト」では、愛好家らが育てた自慢の巣の重量を競い合いました。県内外から115点の巣が出展された中、中津川市付知町の早川利廣さんが6,390gで優勝に輝きました。

会場では、へボを使った料理や地元特産品などが販売されました。へボをみそにすり込んだへボ五平には、珍しい一品を買って求めようと長蛇の列ができていました。



11月1日

いち早く災害時の状況調査が可能に

市と一般社団法人岐阜県測量設計業協会東濃地区協議会は、災害被害状況調査に係る応援協力に関する協定を締結しました。

これは、災害などに遭った場合、同協会が被災箇所の現地調査や測量、設計などを行うことで、迅速な復旧活動につなげるものです。東濃地区では初めて締結されました。

小坂市長は締結式で「被災した場合、人命を守ることや、復旧活動にいち早く取り組み掛かることができるかが重要なことです。この協定により、緊急時にはお互いに協力し、いち早く復旧に向け取り組むことができます」と感謝を述べました。



10月27日

かえでまつりに戦国武将が登場

明智町の大正村広場周辺で、大正村かえでまつりが開催されました。

明智町が明智光秀ゆかりの地であることにちなんで、今年は明智光秀キッズ武将コンテストも初開催。母親手作りの衣装で参加する子もあり会場は盛り上がりしました。

広場中央では、名古屋おもてなし部将隊がステージイベントを行い、織田信長や豊臣秀吉、前田利家らの見事な演武に、多くの来場者が見入りました。

明智中学校と恵那南高等学校の生徒が企画した「あそびひろば」では、紙コップを使ったロケット作りや落書きせんべい体験などがあり、人気を集めていました。